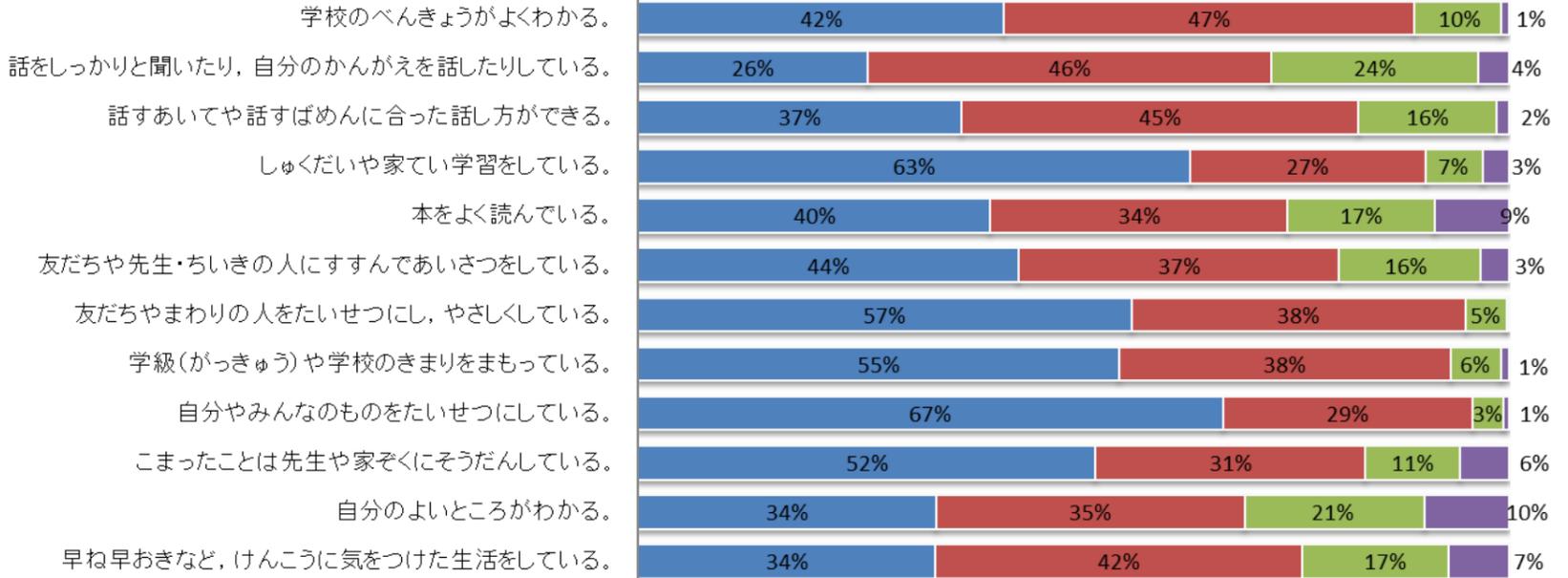




令和2年度後期の学校評価アンケートを実施するにあたり、保護者の皆様にはお忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。児童・保護者・教職員、それぞれが現状をふり返り、自己評価を行いました。その結果をもとに、今後の朱雀第八小学校の教育活動にいかしていくため、集計・分析・考察をしましたのでご報告をいたします。

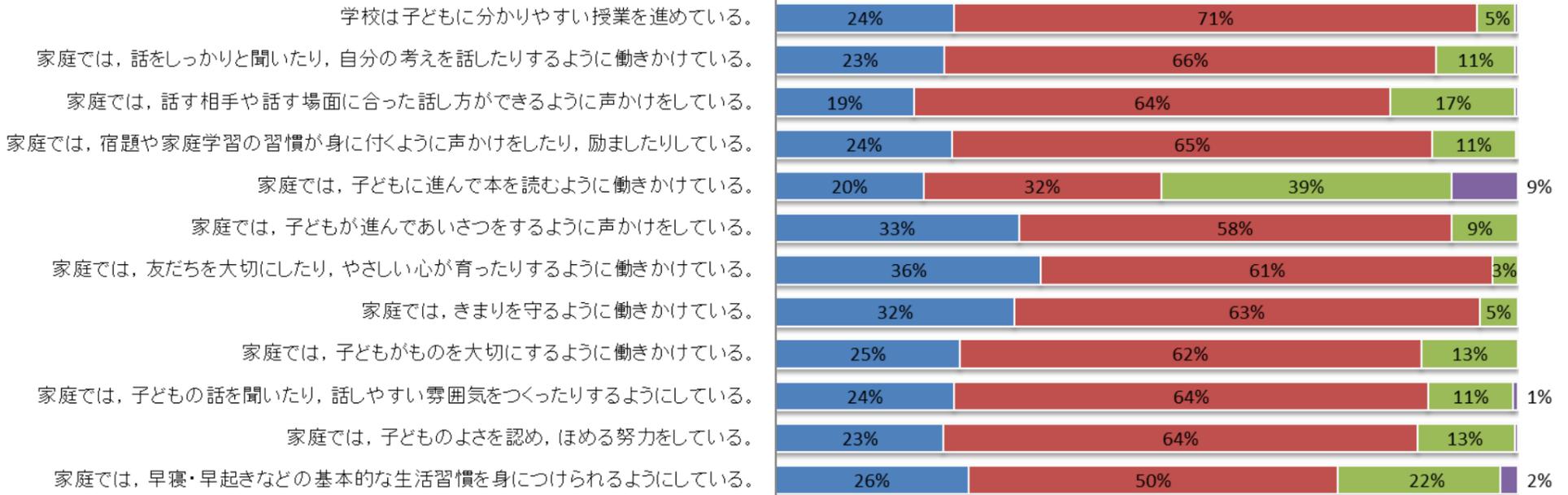
令和2年度後期 児童アンケート

■ よく出来ている ■ 大体出来ている ■ あまり出来ていない ■ 出来ていない



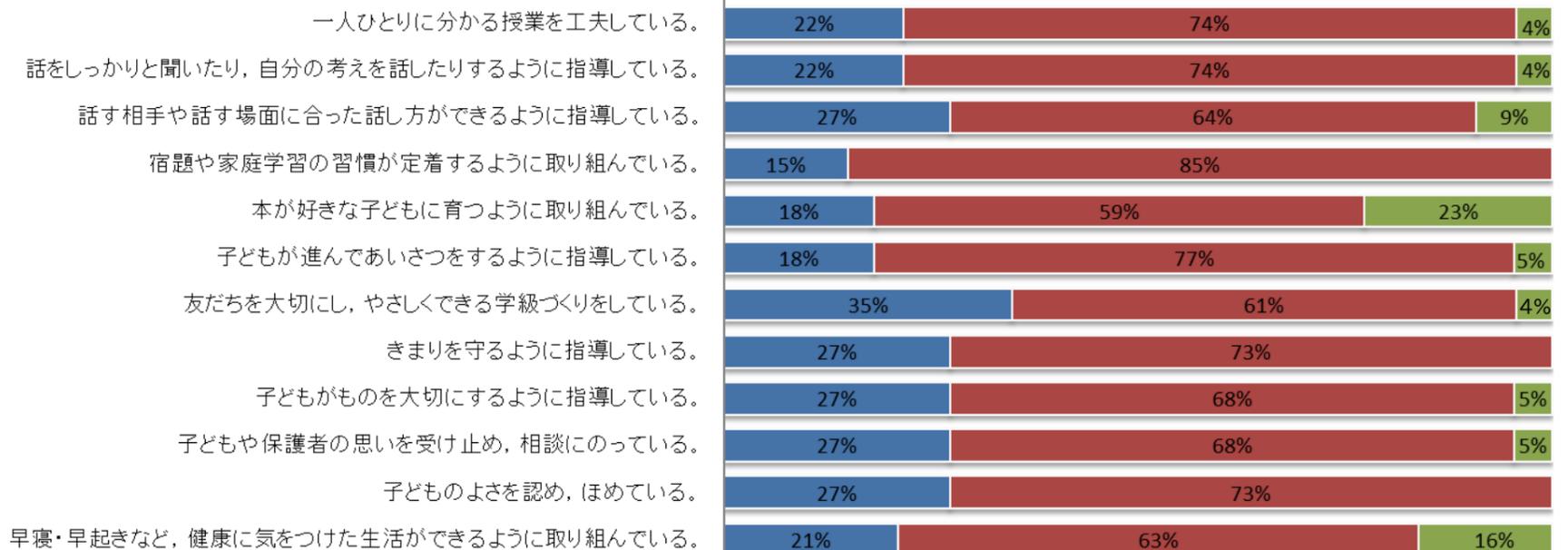
令和2年度後期 保護者アンケート

■ よく出来ている ■ 大体出来ている ■ あまり出来ていない ■ 出来ていない



令和2年度後期 教職員アンケート

■ よく出来ている ■ 大体出来ている ■ あまり出来ていない ■ 出来ていない



<確かな学力について>

①「授業」に関する項目

児童の89%、保護者の95%が学校の勉強がわかると評価しています。今年度も本校では、算数科を研究教科として全校で問題解決的な学習を進めてきました。学習問題に対して、めあてをもち、自分で考えたことや友だちの考えを交流し合っただけで終わらせることができるよう学習を進めています。算数科だけでなく、どの教科においても、基礎的・基本的な学力の定着を図ることはもちろんのこと、自らが学び考える力を培うことができる言語活動の充実を通して、学びの深まりを目指していきたくと考えます。研究成果をしっかりとまとめ、来年度も一人ひとりの児童に届く授業を目指し、学校全体で取り組んでいきます。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、臨時休業中にはご家庭で、授業内容のフォローもたくさんいただきました。ありがとうございます。

②「話す・聞く」③場面にあった「話し方」に関する項目

後期、②の項目に関しては児童72%、保護者89%が出来ていると評価しています。③の項目に関しては児童82%、保護者83%が出来ていると評価しています。保護者のアンケート結果ではどちらも向上が見られました。ご家庭での働きかけが子どもたちの力を伸ばしていきます。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。学校では、感染症対策に配慮して「話すこと・聞くこと」の学習を展開してきました。あまり密にならないよう、短時間に区切ったペアトークやグループトークなどを行っています。授業中、「話す」という活動にはたいへん意欲的な児童が多いです。しかし一方で、他の人が話しているときにはあまり興味を示さない児童がいるのも確かです。話し合ったり発表したり、仲間と交流する学習をこれからも大切にして学びを深めていきます。

④「家庭学習」に関する項目

90%の児童と89%保護者ができていると評価しています。毎日繰り返すことで基本的な力を定着させ、自分で計画を立てたり見直しをもって学習したりするなどの習慣を身に付けてほしいと願っています。家庭学習については、低学年を「家庭学習の習慣づけ」、中学年を「家庭学習の定着」、高学年を「自学自習の確立」と目標を立て取り組んできました。1年生は取組の出発点であるため、保護者の皆様、放課後まなび教室の皆様には大変お世話になりました。今後も全校で家庭学習が確実にできる子どもを育てていきたくと考えております。ご家庭のご協力が必要です。宿題や自主学習を習慣化できるように、また、学校で学習したことを定着させ楽しく活かせるようにするためにも、ご家庭と連携・協力しながら進めていきます。よろしくお願ひいたします。

⑤「読書」に関する項目

児童の74%、保護者の52%が出来ていると評価しています。前期よりも児童は約1%下回る結果でしたが、昨年度の後期からは2%の上昇です。朝の読書活動では物語の世界を楽しんでいたり、授業中には一生懸命に辞書や図鑑を開いて調べ学習をしていたりと、じっくりと本に親しんでいる様子が見られます。子どもたちが読書親しむ姿が少しずつですが広がってきていると感じています。今年度は読み聞かせボランティア「じゃんけんほん」の方々にはリモートで読み聞かせを行っていただきました。毎回楽しみにしている子どもたちです。しかし、まだまだ読書に関しては課題であると考えています。来年度もさらに楽しんで読書活動ができる子どもを目指していきます。

<豊かな心について>

⑥「あいさつ」に関する項目

「友だちや先生・地域の人にすすんであいさつをする」では、児童の81%・保護者の91%、教職員の95%が出来ていると評価しています。マスクの着用ため、声がこもりがちで大きな声も出しづらく、また、なかなか表情を表すことや読み取ることも難しい中ですが、あいさつは相手を思いやる気持ち、相手の存在を認めていることを相手に積極的に伝える大切なことです。友だち同士だけではなく、来校された方々や教職員に対しても、気持ちの良いあいさつができるようすすめています。児童会を中心にあいさつ運動を進めていますが、「挨拶がよくできている」とどの子も胸を張って言えるように今後も大切にしていきたいです。ご家庭や地域でのお取組も、どうぞよろしくお願ひいたします。

⑦「やさしさ」⑧「きまり」⑨「ものを大切にすること」に関する項目

これらの項目では9割以上の児童が出来ていると評価しています。児童会たてわり活動での友だちとのかかわりを見ていますと、高学年の児童が低学年の児童に接するやさしい姿があらこちらで見られます。周りが思わず微笑んでしまうようなやさしさに溢れるかかわりを見せてくれています。

人権教育「なかまの日」の取組では、年間計画、児童の実態や発達段階に応じた学習内容を工夫し進めています。月ごとのテーマに沿って、同和・外国人教育・男女平等・生徒指導・総合育成支援・健康教育について、生徒指導部・人権部、児童会等と連携し、学習を進めています。それぞれの授業においては、子どもたち自身による友だちとのかかわり、「協力」、「参加」、「体験」を取り入れ、進めるよう工夫をしているところです。一人ひとりの子どもたちが、当たり前前の方が当たり前前のできる子に育ちゆくことができるよう、努力してまいります。

⑩「相談」に関する項目

「こまったことは先生や家ぞくにそうだんしている」の結果は、児童の83%が出来ているとしています。しかし、17%の児童があまり出来ない・出来ないとしています。今後も担任と子どもたち一人ひとりがお話しする放課後の特設時間「あのねタイム」を活用することや休み時間も活用し、話しやすい雰囲気、学級、学校をつくることのできるよう、子どもたちと信頼関係を築けるように努力していきたくと思ひます。また複数の教職員で一緒になって子どもたちを支援してまいります。

⑪「自尊感情」に関する項目

「自分のよいところがわかる」に関する回答は児童の69%が出来ていると評価しています。自尊感情は、自分を好きだという気持ち、大切に思う気持ちです。自分をありのままに受け入れて認めることができるよう、教職員は子どもたち一人ひとりのよさをしっかりと伝えていきます。自分のよさがわかり、自分を大切にすることから、友だちを大切にできる子どもたちを育てていきます。ご家庭との連携を大切にして人権学習を進めていきます。

<健やかな体について>

⑫「基本的な生活習慣」に関する項目

「早ね早おきなど、けんこうに気をつけた生活をしている」の項目では、多くの児童と保護者が出来ていると評価している一方で、できていないと回答している人も20%以上います。「早起き」に関しては、一日の生活リズムを作るうえで一番大切なスタートラインだと考えます。ご家庭での時間の使い方について、またもう一度、お話し合ひいただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。

*自由記述欄…様々な視点でご意見・ご要望等をいただきました。現在のよい取組を大切にしながら、子どもたちに、さらに充実した教育活動が実践できるよう、教職員一丸となって取り組んでまいります。一部になりますが、紹介をさせていただきます。

- ・個々の学力に合った授業を進めてほしい。わからないところをわからないで済まらず、わかるまで徹底的に教えてほしい。
- ・どの程度授業を理解しているのかがわからない。家庭学習としてどのようなことを進めるべきか指針を示してほしい。
- ・クラスの人数が多いため、一人ひとりを見ることに先生の負担がかかっているように感じる。もう少し個人への教育が行き届くようにしてほしい。
- ・朝元気に挨拶をする子どもが少ないと、立ち番の時に感じる。
- ・下校時に、下駄箱で履き替える子どもたちが密状態となっている。時間差で教室から出すことはできないか。
- ・感染症対策等で大変な中、様々な工夫を凝らして行事や授業を進めていただいていると思う。